

一般会計は市の予算の中心。最も

収入と支出のことを市の財政では「歳入・歳出」と呼びます。
より良い地域社会を実現するため、市民が納める税金などのお金を
あらかじめ使い道を決め計画的に役立てる、それが予算です。
なかでも一般会計予算は最も金額が大きく、幅広い分野を含んだものです。

歳入

市の施設をつくるなどの
目的で行う「市の借金」で
す。市債は市民も買うこと
ができます。
関連記事 **P.19**

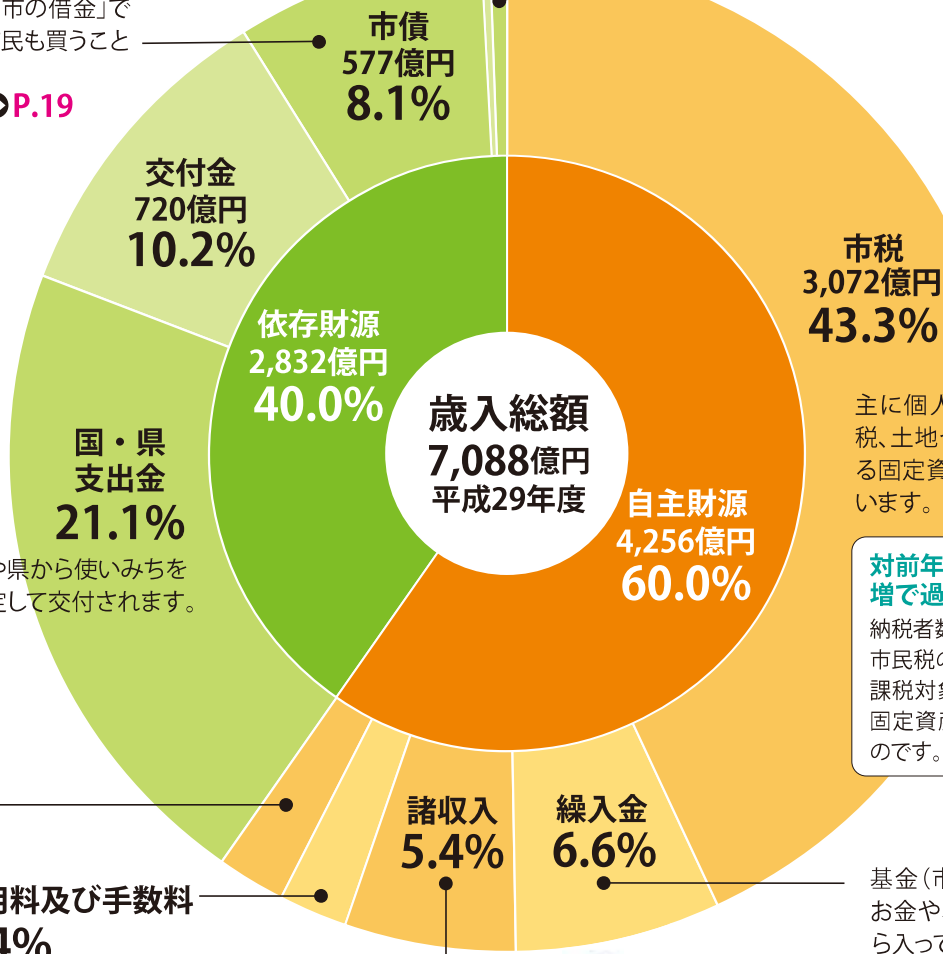
対前年度15億円(2.5%)の減
義務教育施設の再生整備等の
平成28年度予算への前倒しや、
産学交流・研究開発施設整備
事業用地の取得完了などによる
ものです。

地方交付税 0.1%

地域(地方自治体)ごとの税収の差を調
整するために国から配分されるお金。

その他 0.5%

私のお金が
社会のために
活かされる
のですね!



主に個人や法人が納める市民
税、土地や家屋などに課税され
る固定資産税が2本柱となっ
ています。

対前年度57億円(1.9%)の 増で過去最大

納税者数、所得の増加による個人
市民税の増加や、家屋の新増築、
課税対象償却資産の増加による
固定資産税の増加などによるも
のです。

基金(市の貯金)から取り崩す
お金や、特別会計のおサイフか
ら入ってくるお金などです。

その他 2.3%

使用料及び手数料 2.4%

条例などで徴収でき
る使用料や手数料

宝くじや競輪、競馬などの収益金
の一部は、皆さんの身近な生活に
役立てられています。

関連記事 **P.22**



ことばの解説 2

自主財源と 依存財源

じしゅざいげん といぞんざいげん

「自主財源」は市が自主的に集めることのできるお金。この割合が高いほど自
主的な運営がしやすくなると考えられます。

一方、「依存財源」は国や県の考え方を反映させ、決まった額を受け取るお金の
ことです。

大きな「おさいふ」です。

POINT

● 予算規模7,088億円は対前年度698億円 (10.9%)の増で過去最大の規模※

県費負担教職員の市費移管や、スポーツ・文化総合センターの取得などによるものです。

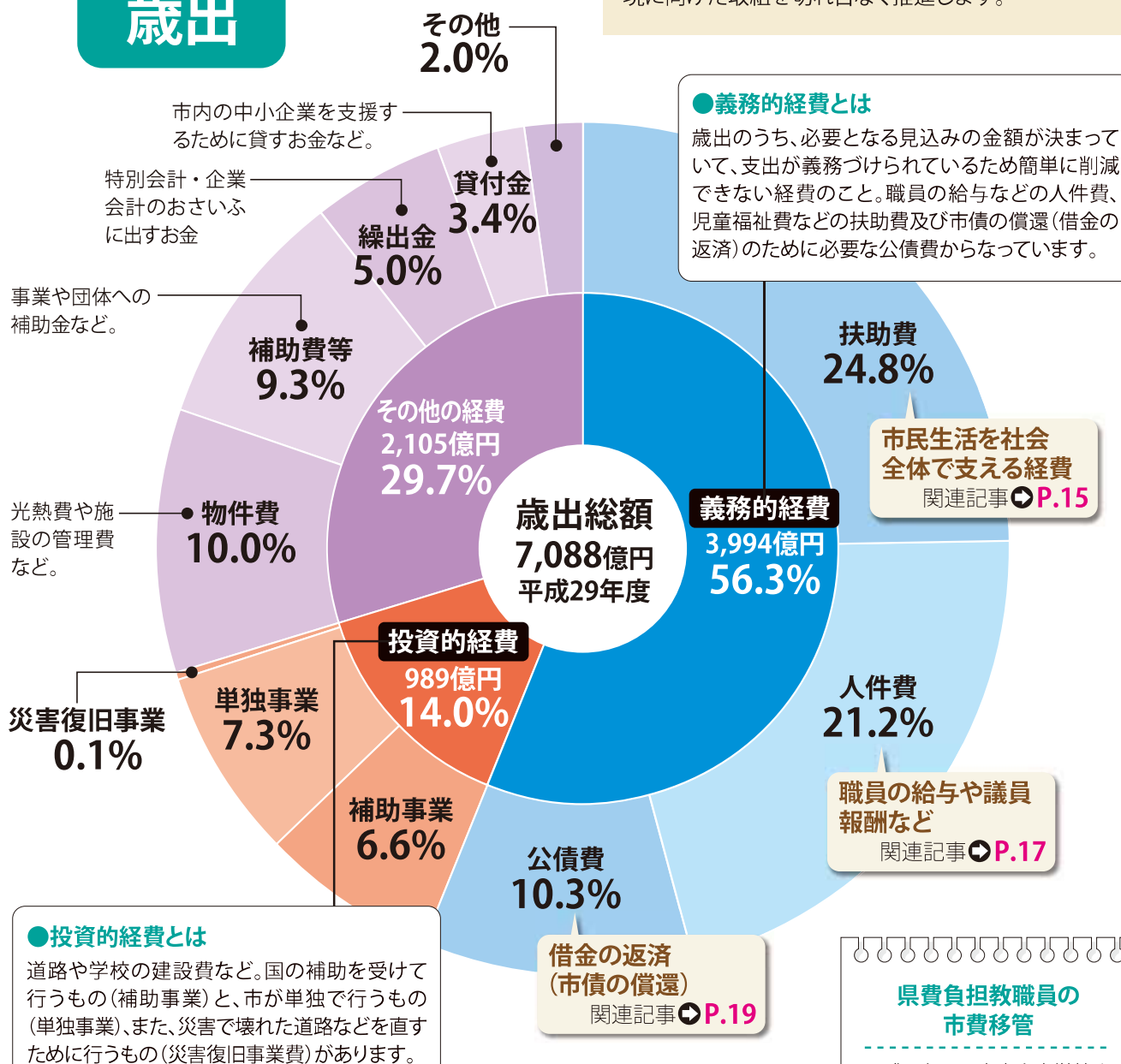
※県費負担教職員の市費移管分560億円を除いた場合6,528億円(対前年度比138億円(2.2%)の増)、さらに過去の減債基金借入金208億円を除いた場合6,320億円(対前年度比69億円(1.1%)の増)

● 減債基金新規借入金185億円

厳しい財政状況においても、「最幸のまちかわさき」の実現に向けた取組を切れ目なく推進します。

● 平成29年度 一般会計予算

歳出



● 義務的経費とは

歳出のうち、必要となる見込みの金額が決まっています。支出が義務づけられているため簡単に削減できない経費のこと。職員の給与などの人件費、児童福祉費などの扶助費及び市債の償還(借金の返済)のために必要な公債費からなっています。

市民生活を社会全体で支える経費

関連記事 ▶ P.15

職員の給与や議員報酬など

関連記事 ▶ P.17

県費負担教職員の市費移管

平成29年4月、市立小中学校や特別支援学校の教職員の給与等の負担や定数の決定権限等が道府県から指定都市に移管されました。

● 投資的経費とは

道路や学校の建設費など。国の補助を受けて行うもの(補助事業)と、市が単独で行うもの(単独事業)、また、災害で壊れた道路などを直すために行うもの(災害復旧事業費)があります。

義務的経費は
いわゆる「固定費」と
おきかえて見ることが
できますね。

